

別記1 - 5 様式第1号 記入例

(別記1 - 5 様式第1号)

年度 多面的機能支払交付金に係る
実施計画、活動報告及び運営委員会による活動報告確認票 (〇〇集)

活動報告の確認欄は、運営委員会が記入します。
必要に応じて現地確認を行った場合は「〇」を記入して下さい。

参加集落 (活動組織)	実施計画	策定日	平成 年 月 日	策定者	〇〇集落
	【1. 農地維持支払 (地域資源の基礎的保全活動)】 当該年度に実施する活動について「〇」を記入し、実施予定時期を記入する。 実施しない場合は、「-」を記入する。(研修等、運営委員会が一括実施する場合は「〇」を記入する。 【2. 資源向上支払 (地域資源の質的向上を図る共同活動)】及び【3. 地域資源の量的向上を図る共同活動】 当該年度に実施する活動について「〇」を記入し、活動内容及び数量を記入する。 実施しない場合は、「-」を記入する。				
活動報告	報告日	平成 年 月 日	報告者	〇〇集落	〇〇
	活動を実施した場合は、活動報告欄に「〇」を記入する。なお、活動記録を別途提出する。 活動を実施しなかった場合は、活動報告欄に「×」を記入し、「未実施理由」欄に未実施の理由を記入する。 計画外の項目には「-」を記入する。				
運営委員会 の確認	確認日	平成 年 月 日	確認者	〇〇広域協定運営委員会	〇〇
	①運営委員会は参加集落 (活動組織) から別途提出される活動記録等により、活動実施の有無を確認する。 ②活動報告の内容が適正な場合は「〇」を記入する。計画に沿った活動が実施されたことを確認する。その結果活動要件が満たされた場合は、「〇」を記入する。 ③必要に応じて現地確認を行い、行った場合は現地確認欄に「〇」を記入する。				

運営委員会の確認者は、確認対象集落とは異なる集落の方として下さい。

実施計画欄及び活動報告欄は、参加集落又は活動組織が記入します。

1. 農地維持支払交付金 (地域資源の基礎的な保全活動)

活動項目	取組	実施計画		活動報告		活動報告の確認	
			実施予定時期		未実施理由		現地確認
点検・ 計画策定	点検	〇	4月	〇		〇	
	年度活動計画の策定	〇	4月	〇		〇	
研修	事務・組織運営に関する研修	〇	平成32年度に予定	〇		〇	
農用地	遊休農地発生防止のための保全管理 【遊休農地解消面積】	350 a	8月	150 a		〇	〇
	畦畔・法面・防風林の草刈り	〇	6月、7月、10月	〇		〇	
	鳥獣害防護柵等の保守管理	-		-			
水路	水路の草刈り	〇	6月、7月、10月	〇		〇	
	水路の泥上げ	〇	6月、7月、10月	〇		〇	
	水路附帯施設の保守管理	〇		〇		〇	
農道	農道の草刈り	〇	6月、7月、10月	〇		〇	
	農道側溝の泥上げ	-		-			
	路面の維持	〇		〇		〇	
ため池	ため池の草刈り	〇	6月、7月、10月	〇		〇	
	ため池の泥上げ	-		-			
	ため池附帯施設の保守管理	〇	4月、6月、8月	〇		〇	
共通	異常気象時の対応	〇	洪水、台風、地震等の発生後	×	異常気象が発生しなかったため未実施	〇	

2. 資源向上支払交付金（地域資源の質的向上を図る共同活動）

活動項目	取組	実施計画		活動報告		活動報告の確認			
			活動内容、数量等		未実施理由		現地確認		
施設の 軽微な 補修	機能 診断 策定	農用地の機能診断	○	4月	○		○		
		水路の機能診断	○	4月	○		○		
		農道の機能診断	○	4月	○		○		
		ため池の機能診断	-		-				
		年度活動計画の策定	○	4月	○		○		
実践 活動	研修	機能診断・補修技術等に関する研修	○	平成32年度に予定	○		○		
		農用地の軽微な補修等	○	機能診断結果に応じて実施時期を決定	○		○	○	
		水路の軽微な補修等	○	機能診断結果に応じて実施時期を決定	×	機能診断の結果、補修の必要がなかったため未実施		○	
		農道の軽微な補修等	○	機能診断結果に応じて実施時期を決定	×	機能診断の結果、補修の必要がなかったため未実施		○	
		ため池の軽微な補修等	○	機能診断結果に応じて実施時期を決定	×	機能診断の結果、補修の必要がなかったため未実施		○	
農村 環境 保全 活動	実践 活動	生態系保全	○	8月 生き物調査実施	○		○		
		水質保全	○	8月 水質検査実施	○		○		
		景観形成・生活環境保全	-		-				
		水田貯留機能増進・地下水かん養	-		-				
		資源循環	-		-				

実施計画欄、活動報告欄は参加集落（活動組織）が記入します。

活動報告の確認欄は、運営委員会が記入します。
必要に応じて現地確認を行った場合は「○」を記入して下さい。

3. 資源向上支払交付金（施設の長寿命化を図る活動）

活動項目	取組	実施計画		活動報告		活動報告の確認	
			活動内容、数量等		未実施理由		現地確認
実践 活動	水路	○	水路〇〇-〇の老朽化部分の目地補修を行う（L=0.55 km）	○		○	○
	水路	○	土水路からコンクリート水路に更新（L=1.20km）	○			
	農道	-	農道〇〇-〇の路肩及び法面の補修（L=2.50 km） →組織の審査で不採用	-			

運営委員会で調整の結果、活動計画書に位置づけられた取組には「○」を記入して下さい。また、計画に位置づけられなかった取組は「-」などわかるように記入して下さい。

※参加集落（活動組織）が毎年度それぞれ行おうとする実施計画を運営委員会に提出した後、運営委員会が組織全体として取りまとめた実施計画によって実施計画の変更があった場合には、変更箇所が分かるように記入すること。

参加集落又は組織が毎年度それぞれ行おうとする取組の計画または要望を記入して下さい。